

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和 8年 3月 31日

(あて先)松本市長

(申請者) 神林町会連合会

1 交付決定額

I	金 600,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

① 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：つながりの場づくり推進事業				
実施主体	神林地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和7年7月1日～令和8年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	高齢者が歩いて行ける距離での、誰もが気楽に集まり話せる場、趣味を楽しむ・情報収集の場、健康増進・介護予防に取り組む場として、パイナップルカフェを10回、住民主体による、みんなのえんがわを7回、いきいき百歳体操は各町内公民館等で週一回程度開催。 毎月1回開催の子ども食堂「ヒッポポ食堂」への支援を行った。			
地域づくりの成果・効果	様々な機会を通じて、住民同士の交流を活性化し、共に支え合い助け合う、顔の見えるつながりの場づくりを推進			
課題	新規参加者の掘り起こしと魅力あるプログラムの企画立案			
決算額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	119,289円	70,000円	円	49,289円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：子ども育成事業				
実施主体	神林子ども会育成会			
実施日(期間)	令和7年6月1日～令和7年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	主な行事として、6月29日(日)わくわく子ども広場まつり、7月27日(日)にさかなつかみ大会、11月9日(日)にお楽しみゲーム大会、12月14日(日)に「正月飾りづくり講習会」を開催。			

地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	子ども広場まつり・さかなつかみ・お楽しみゲーム大会は、多数の参加者により賑やかに開催できた。講習会は伝統的な正月飾りを体験した。子どもたちの地域への愛着を高めるとともに、子どもを地域で育む意識が高められた。			
課 題	高学年の子ども達は企画運営に携わってきたが、さらに自主性を高めるような運営の工夫が必要。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	9,719円	9,719円	円	0円

③ 事業名：移動支援事業				
実 施 主 体	神林地区まちづくり協議会			
実 施 日 (期 間)	令和7年7月1日～令和7年3月31日			
実 施 場 所	神林地区内、山形村			
事 業 概 要	交通手段の無い方に、「パイナップルカフェ」のサロン事業へ参加する際のタクシー(相乗り)利用を実施。 「バスdeおでかけ」と称したぐるっとまつもとバスツアー(体験乗車会)を実施。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	「パイナップルカフェ」へ参加する際のタクシー(相乗り)利用を実施し、3回4名の利用があった。集いの場への参加の一助となった。 「バスdeおでかけ」事業を3回実施、延べ28名の参加があった。バスへの関心を高めるとともに、外出や地域住民のつながりの機会を創出した。			
課 題	多くの住民の参加や、事業周知のため、広報の工夫が必要。 今後は、交通弱者の移動支援として、地域のニーズや課題を把握し、解決策を考えていく必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	20,300円	20,300円	円	0円

④ 事業名：神林公民館・体育館避難所運営整備事業				
実 施 主 体	神林公民館・体育館避難所運営委員会			
実 施 日 (期 間)	令和7年7月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	神林公民館			
事 業 概 要	平成28年に設置された神林公民館・体育館避難所運営委員会による避難所運営のための防災資機材を整備したもの。 今年度は灯油使用の大型炊き出し器を購入。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	購入した大型炊き出し器は、10月19日の文化祭において炊出し訓練として豚汁を作り、試運転をした。 12月7日に開催した避難所運営委員会では、出前講座受講後、防災資機材の点検、防災倉庫の備蓄品の確認、段ボールベッド、リヤカー等の組立、防災食の試食を実施。併せて今後の備蓄品整備の検討を行った。			
課 題	引き続き、防災資機材の計画的な整備を推進する。また、地域住民の安否確認訓練など実際に即した訓練手法の検討が必要。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c

	563,200円	376,528円	円	186,672円
--	----------	----------	---	----------

⑤ 事業名：地域活性化事業				
実施主体	神林公民館、神林地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和7年7月1日～令和8年3月31日			
実施場所	神林地区			
事業概要	10月19日は第53回となるふれあい文化祭を開催。今年度は市内音楽団体と菅野小学校のブラスバンドの合同演奏を開催し、大勢の参加者があった。 11月16日はスポーツフェスティバルを開催。信州大学のモルックサークルに協力いただき、子供から高齢者までニュースポーツを楽しんだ。 「神林だいつ大作戦」として菅野小学校2年生が、地区内の畑で地域の方の指導のもと、大豆の種まき、収穫、豆腐作りを体験した。			
地域づくりの成果・効果	神林らしさをPRするイベントの開催により、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の参加を通じて、世代を超えた住民間の交流を図りました。			
課題	幅広い年代の住民が地区行事に関心を持っていただくような、きっかけづくりとして、様々な事業へ展開を図りたい。			
決算額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	25,331円	25,331円	円	0円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	737,839円	501,878円	円	235,961円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：公民館報合冊版発行資金積立事業					
積立目的	「神林公民館報400号合冊版」を令和7年度に発行するための費用を積み立てる				
積立期間	令和5年度から令和7年度まで(本年度3年目)				
積立ての目標金額	300,000円				
積立実績	区分		積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計
	前年度までの積立経過	1年目	100,000 円	0 円	100,000円
		2年目	100,000 円	0 円	200,000円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績		D 98,122円	E 298,122円	F 0円
	合計額		298,122円	円	

本年度積立金を充当して実施した事業の概要			
実 施 主 体	公民館報合冊版発行資金積立事業		
実施日(期間)	令和8年3月23日		
実 施 場 所	神林公民館		
事 業 概 要	神林公民館報が令和7年12月に通算400号を発行することを記念して、「神林公民館報400号合冊版」を発行した。		
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	今回は201号から400号までまとめたものを発行。地域の歩みを1冊で振り返ることができ、地域への理解や愛着を深めることができた。 また、発行にあたり何度も話し合い、検討してきた経過は住民の主体性が育まれた。		
決 算 額	E + G	財 源 内 訳	
		E	G
	298,122円	298,122円	0円
充当後の積立事業取扱方針			
積立継続(年度まで)・ 廃止			
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法 残高なし			

E : 充当した積立金の額
 G : その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金	0円
-----------	---	----

[参考]繰越上限額 = I × 2 / 10